



平成17年4月より発行してきました情報紙も、ようやく200号を迎えました。これまで多くの方に手に取っていただきまして、大変ありがとうございます。ホームページやSNSからも情報発信をしていますが、手に取っていただける情報紙にこだわり発行してきました。これからも300号にとどまらず1000号を目指し、継続して当館の情報を発信していきますので、よろしくお願いいたします。

最

令和5年度企画展 10/13(金)~12/24(日)

伊勢崎駅周辺の発掘調査

新

伊勢崎駅周辺の整備事業に伴う発掘調査によって明らかとなった市街地の歴史は、伊勢崎市の発展のルーツでもあります。企画展では、伊勢崎駅周辺の土地区画整理事業に伴う伊勢崎城跡と喜多町遺跡の発掘調査成果から、伊勢崎市の市街地発展のルーツを紐解くとともに、最新の発掘調査成果を公開する機会といたします。

いせわき

発

掘

伊勢崎城跡の発掘調査

伊勢崎駅南側には、北小学校を中心とした範囲に伊勢崎藩が政治を行った伊勢崎城(陣屋)があり、発掘調査では陣屋を囲む推定18m程の堀跡の一部が確認されました。堀の内側には幅14m程の土塁が巡っていたようで、これまで絵図に描かれていた伊勢崎城(陣屋)の構えが具体的に確認されました。それ以外にも、近代に商業都市として発展した建物跡やレンガのカマド、商店名が記された陶磁器、そして伊勢崎空襲によって焼かれたレコードや溶けたガラスなど、中世から現代に至る資料が出土しています。



伊勢崎城跡 右側の深い部分が堀跡

歴史文化講座を開催

期日: 11月12日(日) 定員: 100人

時間: 午後1時30分~3時15分

会場: 赤堀公民館(資料館西側)

申込受付: 10月18日(水)から

講座の内容: 発掘調査を担当した青木利文さん(山下工業株式会社)と浅間陽さん(有限会社毛野考古学研究所)が、伊勢崎城跡と喜多町遺跡の発掘調査について語ります。

パネル展

明治の探検家 矢島保治郎

一伊勢崎からチベットへ 11/10(金)▶12/24

佐波郡殖蓮村(現伊勢崎市本関町)の矢島保治郎は、明治42年に一人で世界無銭旅行に横浜港から旅立ち、当時鎖国状態だったチベットに外国人として初めて中国から入った探検家です。今年没後60年の節目を迎えた矢島保治郎について、パネルで紹介します。



明治42年に中国四川省成都で撮影した矢島保治郎

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

休館日: 月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間: 午前9時~午後5時(入館は4時30分)

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98

電話 0270-63-0030

FAX0270-63-0087

E-mail: siryokan@city.isesaki.lg.jp

入館無料